

フューチャーセッション in 杵築

「衛星データを利用した街づくり・仕事づくり（杵築編）」

〈 開催概要 〉

- ・ 日 時 令和3年7月31日（土）13:30～16:00
- ・ 場 所 杵築市商工会 2階ホール
- ・ 対 象 子供から大人までどなたでも参加可能
- ・ 参 加 費 無料
- ・ 参 加 者 24名
- ・ 主 催 一般社団法人おおいたスペースフューチャーセンター（OSFC）



〈 タイムスケジュール 〉

13:30～13:40 オープニングトーク 高山（OSFC理事）

13:40～14:25 話題提供（1）

衛星データを利用した街づくり・仕事づくり

城戸彩乃氏（さくらインターネット株式会社）

14:25～14:40 質疑応答

14:40～14:50 休 憩

14:50～15:10 話題提供（2）

宇宙ビジネスと杵築市の未来

江藤稔明（株式会社ザイナスグループ代表取締役会長）

15:10～15:30 パネルディスカッション

城戸氏、江藤氏、高山

15:30～15:50 参加者との質疑応答

15:50～16:00 まとめ、クロージング

〈 内容 〉

5月に実施したフューチャーセッション（トークセッション）の際に、杵築市が話題に上がりました。そこで今回は、大分県や杵築市、その周辺を衛星データという普段見ることのない視点から捉え、これから整備が進むスペースポートを核として新たな経済活動やどんなサービスが考えられるかを皆さんと一緒に考えました。話題提供は、さくらインターネット株式会社の城戸彩乃氏と株式会社ザイナスグループの江藤稔明氏をお招きして行いました。



※今回のフューチャーセッション in 杵築では新型コロナウイルス拡大防止のため、パネルディスカッションを行いました。通常はゲストによる話題提供の後、グループに分かれてワークセッションを実施していますが、パネルディスカッションと質疑応答の形式にて行いました。

イベントハイライト

〈 参加者の声 〉

- ・スペースポートが地域活性化に繋がるための未来を作りたいと強く思いました。
- ・面白い話を聞かせていただきました！ありがとうございました。
- ・とくに最後のパネルディスカッションが興味深く、あっという間でした！もう少しディスカッションをしたかったです！

〈 お問い合わせ 〉

スペースベース Q 事務局

TEL : 097-589-8622

E-MAIL : info@osfc.or.jp

話題提供（1）衛星データを利用した街づくり・仕事づくり

城戸彩乃（きど あやの）氏

さくらインターネット株式会社 事業開発本部

経済産業省が開発する衛星データプラットフォーム【Tellus】の

公式オウンドメディア「宙畑（そらばたけ）」代表

<プロフィール>

現在、衛星データを使って全国を渡り歩きながら、衛星データや宇宙技術を使ったサービス開発をしている。これまで、宇宙広報団体 TELSTAR 立上げ→宇宙ビジネスメディア宙畑立上げ→リクルート→衛星データプラットフォーム Tellus に携わり、現在、株式会社 sorano me（そらのめ）を立ち上げて CEO を務める。



5月に実施したトークセッションをベースに話題提供をしていただきました。

前回の第2回フューチャーセッション（リンク貼る）で取り上げられなかったものや話題提供の一部をココでご紹介します！

はじめに衛星データの種類や特徴、身近な活用事例などを初心者でも理解できるような、分かりやすい説明をしていただきました。

- ・衛星データの4つの特徴
- ・衛星データでわかること

（それぞれの画像タップで詳細サイトに！）

関連情報

— 話題提供①城戸彩乃 氏 —

[Twitter](#)

[Instagram](#)

[note](#)



[Tellus \(テルース\)](#)



話題提供（2）宇宙ビジネスと杵築市の未来

江藤稔明（えとう としあき）氏

株式会社ザイナスグループ代表取締役会長

<プロフィール>

新日鐵（現日本製鉄）で、経理・人労システム開発、プロセス自動生成ツール設計等に従事した後、独立し、株式会社ザイナスを設立。その後は、システム受託開発やシステムエンジニアの育成を行うなど、長年に亘り、コンピューターシステムに携わる。現在は、学校法人ザイナスアカデミー理事長や Oita イノベーターズコレジオを主宰し、人材育成・教育事業などにも従事。大分県杵築市山香町出身。



IT×災害、AIX食

10 個の防災項目や、早期発見をおこなうために衛星データを活用。

毎週毎週データを取り、過去 1 300 年間のデータをアーカイブ化している。

ドローン、災害情報、画像、サンダーバード計画、などを用いて、災害予防につなげる。



衛星データで別府湾をきれいにするプロジェクト

衛星データ、気象、風速の 2、3 日前のデータを元に別府湾に浮遊しているゴミの場所を予測し、海上清掃船で効率よく回収できるようにするプロジェクト。時間や手間の削減につながるとともに、別府湾の景観の維持や船の安全にもつながる。

その他

・ザイナスは学びの場の提供として Oita イノベーターズコレジオを開講しており、大分からイノベーションを生み出す人材育成に取り組んでいる。

・杵築市ゼロカーボンシティへの取り組みとして、ハイクラスゲストが集まる街にすることや、宇宙技術エンジニアの宿泊施設の設備など、スペースポートタウンを奈多海岸に作る提案など、熱いプレゼンをしていただきました。

関連情報

— 話題提供②江藤稔明 氏 —



株式会社ザイナス

「防災・減災のための情報活用プラットフォーム(略称：EDISON)」というプラットフォーム関連

[「大分県は宇宙港と衛星データ、宇宙を核としたエコシステムの創出へ」\(S-NET より\)](#)

パネルディスカッション 【杵築市の未来を考える】

城戸彩乃氏×江藤稔明氏×高山久信

城戸氏

城下町、色々な資源などがあり、杵築市のポテンシャルとして持っている可能性は大きいと感じました。

でも土曜日なのに、観光客のような人があまり歩いていないですね。

高山

もったいないですね。城下町と新しい都市の連携についてみなさんで考えていきましょう！

杵築市は過去と未来が融合する街というコンセプトが似合いますね。

江藤氏

宇宙空港という資源。杵築のポテンシャルを活かした街づくりをしたいです。



(パネルディスカッションの様子)

<座談会>

参加者の皆さんからの質問でトークは、盛り上がりました。その一部を抜粋して紹介します。

質問 1：打ち上げはもう決まっていますか？

高山

スペースポートとして大分県が選ばれ、来年、バージンオービットが打ち上げに来ます。そのため、地域や県によるスペースポートの整備やバージンオービットを迎え方もポイントになってくると思われます。

日本の大分県で打ち上げたい！というようになってほしいですね。

1回の打ち上げでは、準備を含めると3、4ヶ月の期間で50名ほどの技術関係者が大分に来ることになりそうです。

江藤氏

ウェルカムで迎えてくれるのか？というのもポイントですね。歓迎されると嬉しいですね。杵築市も手を挙げていきませんか？

質問 2：温泉データについて興味があります。観光資源として国東にも何かしら欲しいのですが、

城戸さん

国東で何かしら可能性のある場所を衛星データで見ることできるのか？！ということですね。

いろんな観点で国東を見ていくのはいいですね。

高山

衛星データは、“今後”の状態ではなく、“今”どのような状態なのかが分かれますからね。

城戸さん

温泉に限らず、いろんなものを見つけられそうなので是非、衛星データで見てみたいです！

質問 3：衛星データを使用し、赤外線観測データを使って、お米をつくることは可能ですか？大分県の良いお米を高く売りたいです。

城戸さん

衛星データでは、今、どのような状態なのかがわかるので、それを活用すればできそうですね。

高山

お米のタンパク量、葉の色、刈り入れる時期の見極めなど農業従事者の方々との協力で、衛星データと現地データを組み合わせて実現できそうです！

特米にして、ブランドとして生産に結び付けたいですね。

是非やってみましょう！！

< 杵築市の奈多海岸関連情報 >

[奈多海岸](#) / [奈多・狩宿海岸沿い「太陽と月の遊歩道」](#)

< ファシリテーター >

高山久信 (OSFC) 専務理事

[株式会社 minsora](#) 代表取締役